

広報 やまの

おめでとう
ございます

祝 南砺市二十歳の集い

No.134
2023.3.25
山野地域づくり協議会
〒932-0204 南砺市飛騨屋20
TEL 0763-82-4510



ご成人をお祝いして

市議会議員 川原 忠史

二十歳を迎えられました皆様、おめでとうございます。

今日まで深い愛情を注いでこられましたご両親をはじめ、ご家族の皆様には喜びもひとしおのこととお慶び申し上げます。

コロナ感染も少し落ち着きを見せ降雪も少なく、お友達や先生との楽しい再会のひとときを過ごされたのではないかと思います。

さて、人口減少・少子化が大きな課題となっており、特に若者や女性の市外への流出が止まりません。このことから市では「企業立地戦略」が策定され、若者が定着できるための「仕事づくり」と「働く場」の提供を目標として、若者・女性に選ばれる企業への支援、またUIJターン者への支援の拡充に努めています。

地元で頑張る人、遠く離れて頑張る人それぞれが、若い力・故郷を愛する力を山野地区の発展のためにご尽力いただくようお願いいたします。

そのことが、井波地域、市の発展へとつながっていくのではないかと思います。

結びに、二十歳を迎えられました皆様の今後ますますご健康でご多幸でありますことを祈念申し上げ、夢の実現に向け邁進されますようお祈り申し上げます。



成人を迎えるにあたって



細川 愛実

成人を迎えるにあたり、周囲の環境や人々などに恵まれているとひしひしと感じております。ここまで育ててもらった家族、友人、先生方などのお陰で無事立派に成長することができました。感謝しています。

私は現在、県外の大学に進学し、国際関係や地域社会について学習しております。入学時はほとんど知人がおらず、環境にも慣れず苦労しておりました。しかし、約1年が経った現在、周りの環境に慣れ、友人もでき充実した大学生活を送っています。大学では価値観や考え方が異なる人々ばかりで毎日刺激を受けています。ある人によっては嬉しいと感じることがある、ということがその例です。

今後は、一層言動に責任を持たなければならぬと感じます。成人したという自覚を持ち、これから精進していきたいと思えます。

20歳を迎えて



田中 真尋

生まれてから20年という月日が経ち、無事に成人式を迎えることができました。

たくさんさんの愛情を持って育ててくれた家族と一緒に笑ってくれる友達、真摯に向き合ってくださった先生方、温かく見守ってくださった地域の方々など、たくさんの方々を支えられてきたおかげであると感謝しています。

今は社会人となりたくさんさんの失敗や困難がありました。その中でも様々なことを経験して、いろんな人と関わることで自分の中での考えや価値観が変わったと思います。お金を稼ぐことの大変さや人を想い行動することの大切さを実感し、仕事をしながら家族を支えている両親の偉大さを改めて感じるようになりました。

まだまだ未熟で分からないことばかりですが、周りへの感謝と思いやる気持ち忘れずにこれからも日々精進していきたいと思えます。

成人を迎えるにあたって



高山 璃奈

二十歳という人生の節目を迎えることができました。今まで支えてくれた家族や友達、恩師、そして暖かく見守って下さった地域の皆様のおかげでここまで成長できました。ありがとうございます。

二十歳を迎え、これからは社会の一員として自覚を持った行動をしていきたいと思えますが、まだまだ世の中は私の知らないことだらけだと日々感じています。まずは見聞を広め、変化を恐れず何事にも挑戦し、いろいろなことを学んでいきたいと思えます。そして、学ぶだけで終わりにせず、知識を生かし人のために行動できる人間になりたいと思えます。

最後に、生まれてから20年間たくさんの方々を支えられてここまで成長することができました。今まで支えてくれた方への感謝の気持ちを忘れず、少しでも恩返しできるように努力して行きたいと思えます。

これからの人生



岩元 叶馬

この度、無事に成人式をむかえられたことは大変嬉しく思います。

現在、私は日本競輪選手養成所に合格し、5月から入所します。幼少期から好きだった自転車をプロアスリートという立場で闘っていけることがとても楽しみです。この結果は、いろいろな場面で支えてくださった方々のおかげで、応援が私の原動力になったからです。今ある環境に感謝し、自分に負けずに成長していきます。

「競輪選手」は、日本でも選手が多い職業です。野球やサッカーなどの他競技出身の選手が多くとても魅力あるスポーツです。そんな「競輪」という世界で私は、中部地区を代表する強い選手を目指します。目の前の一戦を大切にし、グレイドレースで活躍していきます。そして、より多くの方に笑顔や勇気を与えられる存在になります。

デビュー戦は2024年5月です。応援してください。

二十歳の抱負



畑 依織

この度は二十歳の集いを開いていただきありがとうございます。成人の日を迎えることができ、嬉しく思います。

ここまで育ててくれた家族、たくさん関わってくれた友だち、様々なことを教えてくださった先生方、そして温かく見守ってくれた地域の方々には感謝でいっぱいです。

私は現在、石川県の短期大学で経営学や金融、簿記などを学んでいます。6月に内定をいただき、今は単位をとって卒業できるように勉強を頑張っています。

就職活動では合同説明会にインターンシップ、個別説明会、面接と辛いことが多く投げ出したくなる時もありましたが、第一希望の企業から内定を貰えた時は本当に嬉しかったです。

私は4月から社会人となりますが、責任を持てる人になりたいと思います。

「抱負」

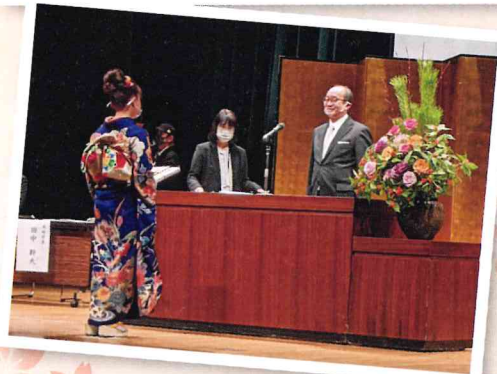


吉田 大葵

始めに、今まで私を支えてくださった家族・友人・恩師たちに感謝します。おかげで20歳という一つの人生の節目を迎えることができました。年齢で見ればまだまだ時間はあるように思えますが、心理的に感じる時間では19歳で人生の半分を終えているということを知ったとき、驚いたことを覚えていきます。私の2023年の抱負は「より深く学ぶ」です。

なぜなら、2023年の4月から私は三年生になり、後期から研究室に配属され、今まで以上に自分で学び、考えるということが必要不可欠になるからです。

私は現在、情報システムについて大学で勉強しており、二年生では専門的な内容をたくさん学びました。例を挙げると画像処理や機械学習、プログラミングなどです。これらの内容を学んで、情報システムという分野はこの世に存在しているさまざまな分野に関わっていることを知りました。今後は、このような分野について学んでいるということを意識して、少しずつ社会に貢献できるように自分を磨いていきたいと思っています。



南砺市二十歳の集い
フォトギャラリー



祝 南砺市二十歳の集い



フレイルチェック受けてみませんか!?

山野地域づくり協議会では、今年度から「フレイルチェック」を始めました。「フレイル」とは、心身の活力（体力・気力・持続力など）が低下した状態のことです。多くの人が、この「フレイル」の段階を経て要介護状態になります。

「フレイルチェック」は、フレイルの状況を把握するために、簡単な質問や筋力測定などを行い、自分自身の健康状態に気づき、介護予防や生活改善に取り組みきっかけにすることができま

す。今年度は7月1日と2月22日の2回行いました。たった半年でも筋力の低下がみられる方もいました。

楽しく張りのある毎日を過ごすため、あなたも是非チェックしましょう。



健康福祉部

三年ぶりの開催(2月18日)

「ほのぼのの家」

一人暮らしで70歳以上の方、75歳以上のご夫婦だけでお住まいの方をご招待して元気づける「ほのぼのの家」が、3年ぶりに開催されました。招待者16名、応援ボランティア15名が参加しました。

音楽療法士の田悟恵さんによる皆さんの青春時代の歌「愛して愛して愛しちゃったのよ」等、たくさんの懐かしい歌、軽快な楽しい話術にも引き込まれ会場を盛り上げていただきました。アツという間の70分間で

した。ゲームの後は、種類の違うカップ



麺がたくさん積みあがっており、じゃんけんゲームに勝った人からお土産にお好みのカップ麺を複数選んでいました。応援ボランティアの方がポリ袋を持ち、好みの麺を選べるように支援する姿が微笑ましく見えました。ある招待者の方は「全部種類の違うカップ麺を選べた、食べるのが楽しみだ。来年も元気なら参加したい」と話されていました。最後に出来たて弁当を配布して終了しました。来年も、招待者がますます笑顔で元気になるよう工夫します。多数の参加をお待ちしています。

健康福祉部ふれあい委員長 高田博之

令和5年度役員紹介

一年間よろしくお願ひいたします

山野町内会長協議会

会 長	波能 治男
副会長	藤原 洋
〃	村元 守人
会 計	浅井 吉紀
監 事	板橋 一徳
坪 野	藤原 洋
山 斐	崎田 栄信
岩 屋	前川 英進
飛 驒	村元 守人
野 能	波能 治男
井波軸屋	永井 信彦
安 室	山崎 茂
清 水	山田 義弘
高 屋	村岡 裕一
専勝寺	浅井 吉紀
会 長	高田 博之(安)
副会長	長谷川光徳(野)
総 務	中山 登(坪)
会 計	村岡 豊彦(高)
監 事	松川 正明(岩)
〃	齊藤まゆみ(岩)

山野老人クラブ長寿会

高齡者学級長	藤永 隆夫(山)
〃 副学級長	村岡 恵子(高)
〃 会 計	長谷川光徳
〃 会 計	往蔵 千鶴(野)
活動推進員	松長 雅明(飛)
〃	境 光子(坪)
女性部長	南 奈津子(山)
女性副部長	境 光子
文化祭展示委員	松川 正明
〃	齊藤 紀子(飛)
文化祭発表委員	松川 正明
〃	村岡 恵子
〃	松長 雅明
三世代盆踊り委員	浅井佳和子(専)
〃	往蔵 千鶴
〃	中山 登
広報委員会委員	村岡 豊彦
交通安全リーダー	齊藤 紀子
訪問支援活動委員	齊藤まゆみ
〃	長谷川光徳
防災安全委員	長谷川光徳
健康福祉部委員	長谷川光徳
会 長	齋藤 眞二
副会長	藤原 孝志
〃	村岡 裕一
庶 務	山田 和成
会 計	嶋 喜彦

山野壮年会

監 事	齋藤 弘樹
〃	片田 昌宏
坪野中部	藤原 孝志
坪野西部	板橋 秀司
山 斐	齋藤 眞二
〃	吉田勝祐喜
〃	山田 和成
岩 屋	片田 昌宏
〃	岩崎 宏志
〃	岩元 泰也
飛 驒	齋藤 弘樹
野 能	長谷川義晃
井波軸屋	永井 篤也
安 室	田原 章吉
清 水	嶋 喜彦
高 屋	村岡 裕一
専勝寺	大浦 正人
会 長	飯田 洋人(山)
副会長	高田 龍輔(飛)
地域活性化委員	高田 拓(高)
広報誌編集委員	高田 龍輔
盆踊り実行委員	永井 龍大(軸)
〃	野村 昌浩(専)
文化祭実行委員	山田 智生(清)
〃	境 浩司(坪)
〃	長谷 温友(岩)

山野青年会

役 員	往蔵龍太郎(野)
会 長	新里 史朗(安)
副会長	大浦 峻(専)
〃 (母親クラブ会長)	澤田有加里(高)
庶 務	磯邊 博亮(清)
会 計	大浦 順子(専)
監 事	荒木 規志(坪)
〃	棚田 綾乃(安)
広報委員	大浦 峻
〃	澤田有加里
ふれあい委員	新里 史朗
〃	大浦 順子
文化委員	太田 広明(岩)
〃	太田 理絵(岩)
スポーツ委員	綿貫 正治(山)
〃	綿貫 絵美(山)
活性化委員	磯邊 博亮
〃	棚田 綾乃
井波地区連合理事	荒木 規志
〃	荒木ひばり(坪)
クリスマス会	金戸 孝之(飛)
〃	金戸麻衣子(飛)



第47回

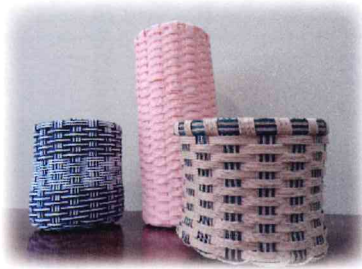
防火ポスターコンクール表彰者



主催 南砺市消防団井波方面団山野分団



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|----|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|----|------------|------------|------------|----|
| 荒木 陸哉 (中三) | 大谷 日葉里 (中三) | 岡野 光里 (小五) | 吉川 侑花 (小四) | 古田 叶華 (小四) | 高田 侑依 (小二) | 岡野 洸佑 (小二) | 磯邊 隼士 (小一) | 銅賞 | 竹原 美遥 (中一) | 金田 龍樹 (中一) | 磯辺 悠花 (小六) | 磯辺 知花 (小四) | 上田 美悠香 (小三) | 岡野 琴未 (小一) | 銀賞 | 齊藤 紀久 (中二) | 大谷 吉乃 (小六) | 大谷 馨子 (小三) | 金賞 |
|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|----|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|----|------------|------------|------------|----|



- | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|
| 吉川 実花 | 岡野 暁士 | 澤田 奏 | 磯邊 彩葉 | 嶋 俊希 | 金戸 珠羽 | 吉田 弦陸 | 吉田 壹瑳 | 高田 悠生 | 高田 葉來 | 努力賞(保育園) |
|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|



編集後記

コロナ感染症に注意を払いながらの令和4年度も終わろうとしています。また世界では侵略戦争や大地震が起こり地球の温暖化もあいまって、先の見えな
い時代に入っています。

翻って山野地域づくり協議会の活動では、コロナ感染予防のため多くの行事が中止となりましたが、その中でもサロン活動や、特産品活性化事業などを感染防止に務めながら行ってきました。

また、「広報やまの」では、その時々々の旬の話題や活動紹介、山野地内の各地区の成り立ちや歴史そして現在と紹介をしてみました。地区紹介は、あと2地区残っていますが、次号で紹介いたします。

4月から令和5年度に入りますが、確定ではないもののコロナ感染症の分類がインフルエンザと同等になるようで、少しは地区の皆さんが顔を合わせて絆を深めながら気持ちの良い交流ができるのではないかと期待しています。今後も皆さんとともに、歩んでまいりたいと思います。

編集委員会